

訪問看護メモ

■梅雨時にありがたい布団乾燥サービス

梅雨のじめじめと湿気の多い季節です。お布団は気づかないうちに干やお部屋の湿気を吸っています。寝たきりの方はなおさらです。寝具乾燥サービスをご利用でしょうか？助成を受けられる場合がありますので、ご利用になりたい方は、まずはお問い合わせをしてみてください。



- 渋谷区 対象：65歳以上で寝たきり状態の人、または日照条件が悪いため布団が干せない人
【問い合わせ先】高齢者サービス課サービス事業係（電話：03-3463-1888）
- 新宿区 対象：寝具の衛生管理が困難な65歳以上の高齢者。助成を受けられるいくつかの条件があります
【問い合わせ先】高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）
※地域により電話番号が異なります。詳しくはお問い合わせください。
- 杉並区 対象：区内に住所を有し、介護認定の認定を受けている方、又は65歳以上で「心機能の低下、障害および病等の理由により寝具の洗たく、乾燥等の困難な方。
【問い合わせ先】高齢者在宅支援管理係 電話：03-3312-2111(代案) / 03-5307-0649(直通)
- 中野区 対象：要介護度が4または5で身体または家屋の敷居により寝具乾燥を行うことが困難な方。
【問い合わせ先】各地域包括支援センターまたは介護総合担当へ（区役所2階9番）
電話：03-3228-6531

NPO いのちは

「いのち」に関わること、真にひとが豊かに生きるための活動を行っています。人間の生きること、死を見つめること、かけがえのないひとりの生命、人生に向き合い、大事にすること...

NPO いのちでは、2001年から2005年まで在宅ターミナルケアを中心とした活動を行ってきました。

NPO いのち訪問看護ステーションでは、これまでの活動をふまえながら、在宅ターミナルケア・家で最期まで過ごす方とご家族のサポートを中心に、NPO いのちならではの支援に、今後も積極的に取り組んで参ります。



ある日のスタッフ便りより



「常に酸素を使用しないと生きていけない」と不安が強いMさんの訪問中に地震がありました。在宅酸素の器械は電気が使用できない時は、携帯酸素の使用及びその交換が必要です。それは、独り暮らしで高齢のMさんには、大変なことで命に関わる事です。余震が起こるたびに「もう死んでしまいたい」「地震があったらあなたを呼ぶから」と最初は不安そうに仰っておられました。地震の日の皆さんの安否確認が終わったのは真夜中で、実際、一斉に皆さんのところへ飛んでいける状態ではありません。停電が無かったのが幸いでした。Mさんにはパンフレットを作成し、酸素業者の方にもご協力頂き、ご訪問するたびに厳しい訓練が始まりました。一言目には「ポケていて駄目だ」と逃げ腰のMさんでしたが、最近ようやく腹を据えたようで、眼鏡を掛け顔つきが変わり真剣にパンフレットを見ながら、ご自身で交換が出来るようになったのです。が、気の毒にさえ感じます、このような事態にならなければ、必要のなかったことです。病気の中、不安や恐怖を乗り越え自らで生きる力が生まれたようで、以前よりMさんが逞しく勇前に感じます。共に喜びそして感謝があります。

NPO いのちホームページにてスタッフ便り随時更新中 (www.npoinochi.org)